

COP15、COP/MOP5での 植林CDM、REDD関連の議論について



武藤 信之
(林野庁 海外林業協力室)

2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

1



本日の内容

1. COP15, CMP5における議論の展開
2. 先進国における森林吸収源等(LULUCF)の
取り扱いに関する議論
3. 途上国における森林の取り扱い(REDD、
CDM)に関する議論

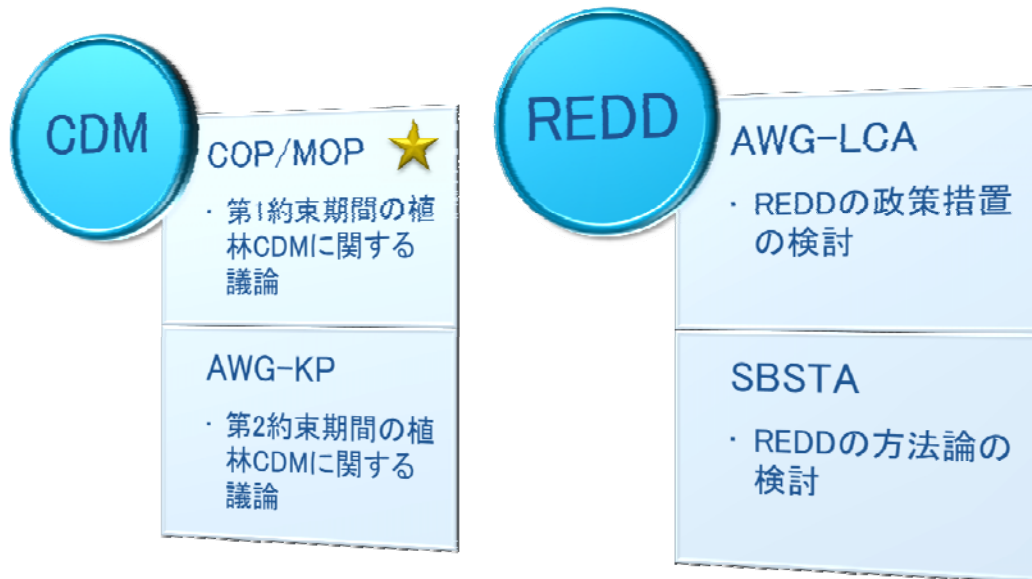
2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

2



本日の内容



CDM: Clean Development Mechanism

REDD: Reducing emissions from deforestation and forest degradation in developing countries

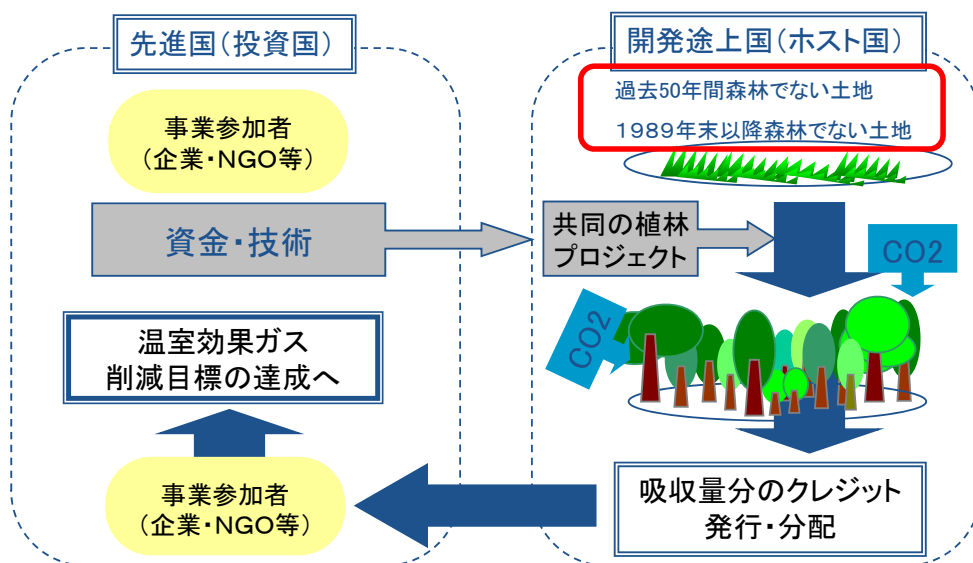
2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

3



第1約束期間の植林CDMに関する議論



2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

4



第1約束期間の植林CDMに関する議論

(1) 背景

- COP/MOP4はCDM理事会に対して植林CDMの対象地として「forests in exhaustion」を含めることについて検討し、COP/MOP5に報告するよう要請(決定2/CMP.4、パラ42)

(2) 検討事項

- これに関し、CDM理事会は「forests in exhaustion」の定義や、これを第1約束期間の再植林対象地とする場合に必要な改訂案等をCOP/MOP5に報告

(3) 結論

- SBSTAに「forests in exhaustion」に係るCDM理事会の勧告について評価を要請 (FCCC/KP/CMP/2009/L.10 パラ28)

CDM理事会の報告(抜粋)

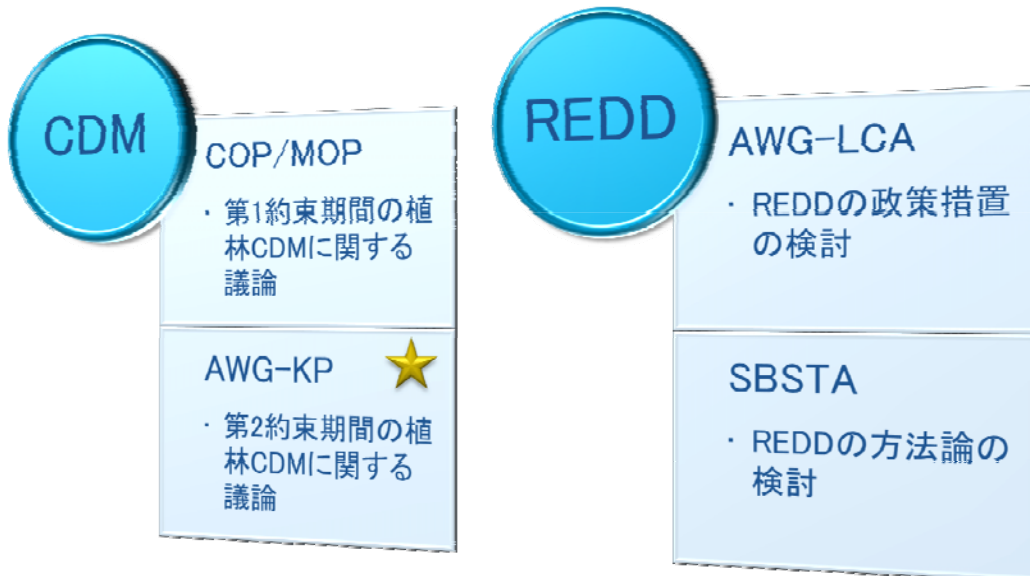
“forest in exhaustion” is an area of land that has been degraded through human activities and is expected to be converted to non-forested land through the project activity, it is expected to remain as non-forested land.

•FEは、1989年末かつ/又はプロジェクト開始時点に森林を含む土地
 •プロジェクト開始時点に森林の場合、プロジェクトがなければ、[5]年以内の最後の収穫により非森林地に転換
 •プロジェクト開始時点に非森林地の場合、プロジェクトがなければ、非森林地のまま

※正しくは気候変動枠組条約の公式文書をご確認ください



本日の内容



CDM: Clean Development Mechanism

REDD: Reducing emissions from deforestation and forest degradation in developing countries



第2約束期間の植林CDMに関する議論

(1) 背景

- 吸収源CDMについて、第1約束期間については新規植林・再植林プロジェクトに限定

(2) AWG-KPにて検討されているオプション

- 新規植林、再植林は、第2約束期間もCDM活動として有効
- 他の活動は将来において合意されれば有効
- 新規植林、再植林のモダリティ等は、第2約束期間も第1約束期間どおりに適用
- 非持続性の取扱いは将来のCOP/MOP決定による
- 新規植林、再植林の算入は1% × [x]を上限

(3) AWG-KP10の結論

- SBSTAに対し、LULUCF分野の活動(例えば、森林経営等)のモダリティ等や、非持続性の取扱いについて検討等をし、COP/MOP7に報告するよう要請

※正しくは気候変動枠組条約の公式文書をご確認ください

- 森林の場合、吸収された二酸化炭素が、森林火災や枯死等により大気中に再放出される可能性(非持続性)
- 植林CDMについては、短期期限付きクレジット(t-CER)及び長期期限付きクレジット(l-CER)を発行

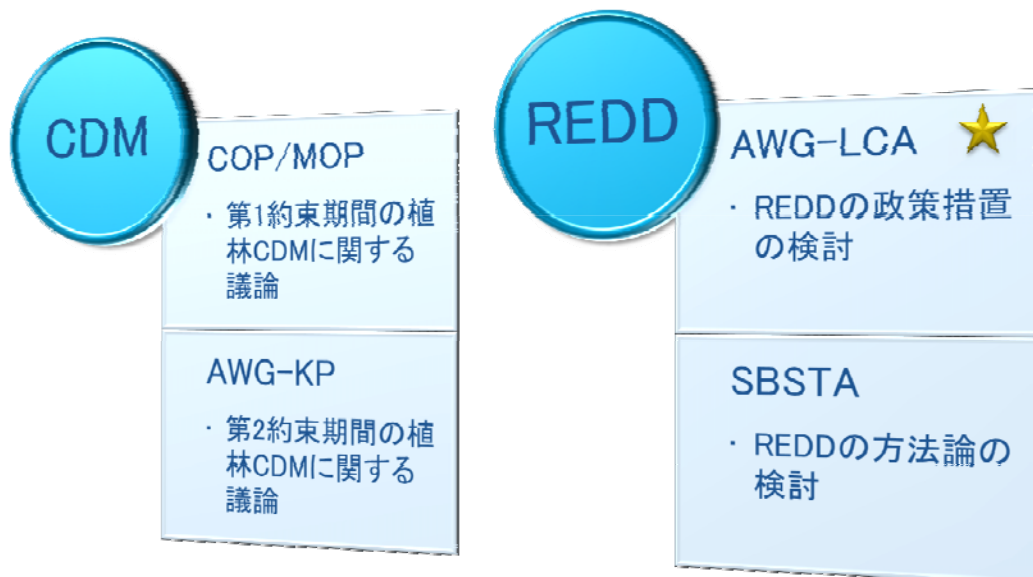
2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

7



本日の内容



CDM: Clean Development Mechanism

REDD: Reducing emissions from deforestation and forest degradation in developing countries

2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

8



REDDに関する議論－考え方

(1) 背景

- 森林減少等に由来する排出は、世界の温室効果ガス排出量の約2割を占めるとされている一方、京都議定書では、この問題は対象とされていない

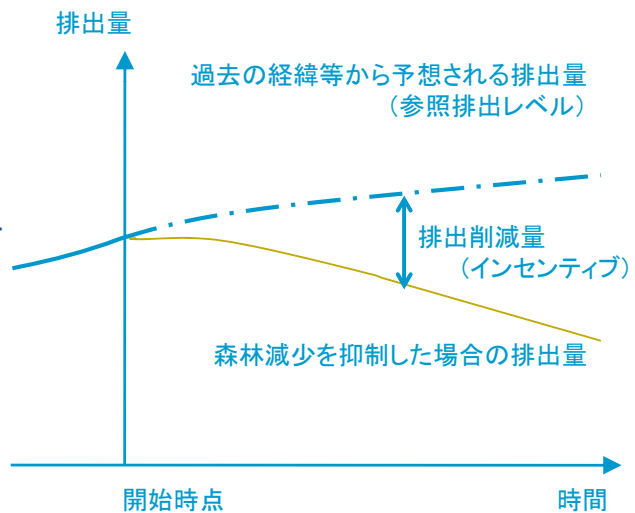
(2) 経緯

- COP13(2007年、インドネシア)にて、本年12月のCOP15(デンマーク)での合意に向けて次期枠組検討を進めることに合意。その一環として、「途上国における森林減少・劣化に由来する排出の削減(REDD)」も検討することとされた

REDD: Reducing emissions from deforestation and forest degradation in developing countries

(3) REDDの考え方

- 途上国の森林の減少・劣化を抑制する取組みによるCO₂の排出削減に対して、何らかの経済的なインセンティブを与えようとするもの



REDDに関する議論－概要

- AWG-LCA(政策措置を検討)
 - これまで各国からの提案を基に作成した交渉テキストの論点を整理
 - 今次会合では、前回バルセロナ会合までの成果を基にCOP決定案を検討
- SBSTA(方法論を検討)
 - 前回SBSTA30(2009年6月)では、COP15において採択を目指す決定案(方法論的指針)を検討
 - 今次会合では引き続き当該決定案を検討



REDDの政策措置の検討状況

- ・ 今次会合では決定に至らず、COP決定に基づいて、引き続きAWG-LCAで検討が行われる見込み
- ・ 検討中のCOP決定案では、例えば…
 - 森林分野における緩和行動として5つの活動を列挙(パラ3)
 - (a)森林減少からの排出の削減
 - (b)森林劣化からの排出の削減
 - (c)森林炭素蓄積の保全
 - (d)森林の持続可能な経営
 - (e)森林炭素蓄積の強化
 - 国家戦略等の策定や人材育成、国家戦略等の実施といった、フェーズで実施(パラ7)

※正しくは気候変動枠組条約の公式文書をご確認ください



REDDの政策措置の検討状況(続き)

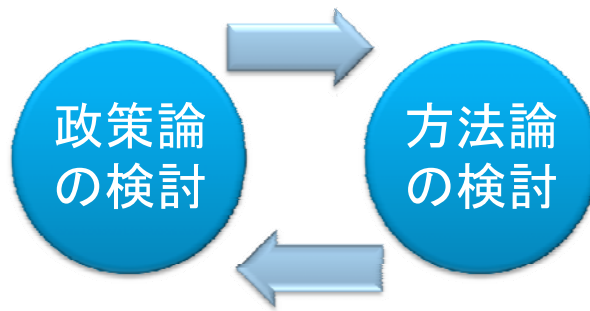
- ・ 検討中のCOP決定案では、例えば…
 - SBSTAへの技術的課題の検討要請
 - ・ 例えば、森林減少・劣化の誘引となる活動を特定し、関連する排出・吸収等推計に係る方法論的課題を特定し、また、緩和への貢献のポテンシャル分析するための作業計画の実施を要請(パラ4)等
 - ・ そのほかにパラ9、10、13でSBSTAに言及
 - [途上国による、国家戦略等の策定、森林参照レベル等の設定、モニタリングや報告体制の整備](パラ5)
 - [資金のオプションについて(パラ11、12)]

※正しくは気候変動枠組条約の公式文書をご確認ください



残された主な論点

- 森林減少等の目標
- REDDのスケール
- NAMAとの関係
- 資金
- 行動及び資金のMRV(測定/報告/検証)
- ...



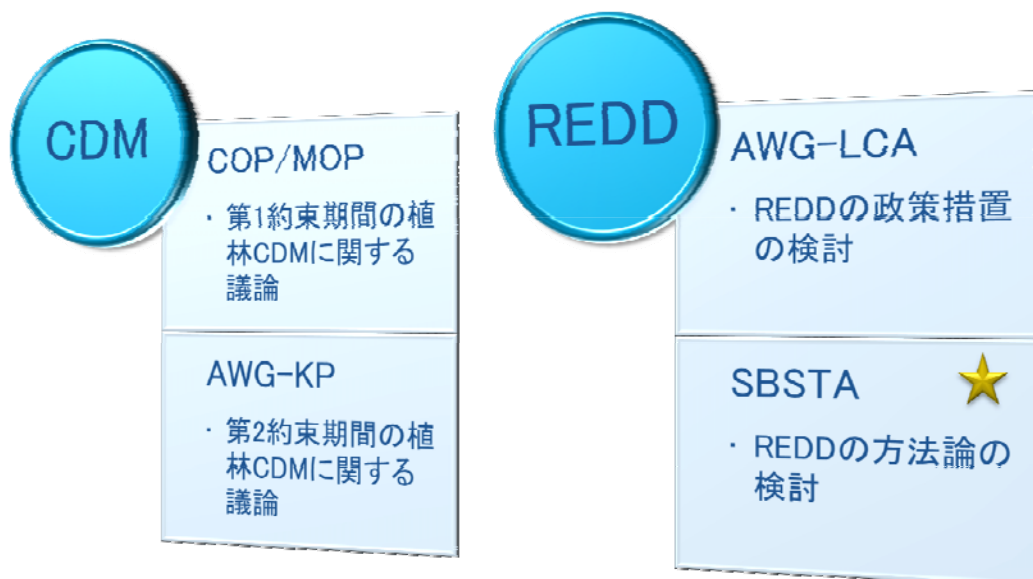
2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

13



本日の内容



CDM: Clean Development Mechanism

REDD: Reducing emissions from deforestation and forest degradation in developing countries

2010年1月15日

CDM吸収源事業説明会

14



REDDの方法論の検討状況

- ・ COP15は、SBSTA31での検討を踏まえ、REDDに関する活動の方法論的指針の採択を決定
- ・ 方法論的指針では、例えば、概要以下を規定
 - － 途上国に対し、REDDに関する行動に関しては、以下を考慮することを要請(パラ1)
 - ・ 森林減少・劣化の誘因を特定すること
 - ・ 排出の削減や吸収の増加等につながる行動を特定すること
 - ・ 排出量の推計にIPCCの指針を用いること
 - ・ 国情に応じてリモートセンシングや地上調査の組み合わせなどによる国家森林モニタリングシステムを構築すること(適切な場合は準国家システムもその一部として構築)
 - － 他のCOP決定に沿った形で、IPCCによる更なる作業の必要性を認識(パラ2)

※正しくは気候変動枠組条約の公式文書をご確認ください



REDDの方法論の検討状況(続き)

- ・ 方法論的指針では、例えば、概要以下を規定(続き)
 - － モニタリング、報告における先住民や地域コミュニティの効果的な取組みのための指針について、適切に開発することを推奨(パラ3)
 - － 排出量推計の向上のため、途上国の能力強化支援を推奨(パラ4)
 - － 先進国や国際機関に対して、IPCCの指針やガイドラインの実施に関する途上国の能力向上の拡大を招請(パラ5)
 - － 参照レベルを設定する途上国は、過去のデータや国情を考慮しつつ、透明性を確保すべきことを認識(パラ7) 等

※正しくは気候変動枠組条約の公式文書をご確認ください



関連資料1

- 第1約束期間の植林CDMに関する議論
 - FCCC/KP/CMP/2009/L.10. Further guidance relating to the clean development mechanism. (http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=60005664&suchen=ag&id_ag=63&anc=27)
 - FCCC/KP/CMP/2009/16. Annual report of the Executive Board of the clean development mechanism to the Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Kyoto Protocol. (http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=60005482&suchen=ag&id_ag=63&anc=26)
- 第2約束期間の植林CDMに関する議論
 - FCCC/KP/AWG/2009/L.15. Report of the Ad Hoc Working Group on Further Commitments for Annex I Parties under the Kyoto Protocol to the Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Kyoto Protocol at its fifth session. (http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=60005645&suchen=ag&id_ag=64&anc=10)
- REDDの政策措置の検討(AWG-LCA)
 - FCCC/AWGLCA/2009/L.7/Add.6. Outcome of the work of the Ad Hoc Working Group on Long-term Cooperative Action under the Convention. Draft conclusions proposed by the Chair. Addendum. (http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=60005641&suchen=ag&id_ag=65&anc=27)



関連資料2

- REDDの方法論の検討(SBSTA)
 - FCCC/SBSTA/2009/L.19. Reducing emissions from deforestation in developing countries: approaches to stimulate action. Draft conclusions proposed by the Chair. (http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=60005613&suchen=ag&id_ag=60&anc=15)
 - FCCC/SBSTA/2009/L.19/Add.1. Reducing emissions from deforestation in developing countries: approaches to stimulate action. Draft conclusions proposed by the Chair. Addendum. (http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=60005614&suchen=ag&id_ag=60&anc=16)
- コペンハーゲン合意
 - FCCC/CP/2009/L.7. Copenhagen accord (http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=600005666&suchen=ag&id_ag=62&anc=26) 又は
FCCC/KP/CMP/2009/L.9(http://unfccc.int/documentation/documents/advanced_search/items/3594.php?rec=j&preref=600005667&suchen=ag&id_ag=63&anc=40)



ありがとうございました
Thankyou